

2025年1月10日

各位

会社名 株式会社ウッドフレンズ
代表者名 代表取締役 伊藤 嘉浩
(コード番号 8886 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 執行役員経営管理室長 中島 崇
電話番号 052-249-3504

2025年5月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、2024年7月11日に公表しました2025年5月期第2四半期（中間期）の業績予想と本日公表の実績値において差異が発生したため下記のとおりお知らせします。また、直近の業績動向を踏まえ、2025年5月期の通期連結業績予想の修正を決定しましたので、併せてお知らせします。

記

1. 2025年5月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値の差異（2024年6月1日～2024年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株あたり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	13,836	△60	△226	△241	△165.28
今回実績 (B)	11,293	△960	△1,063	△1,134	△777.80
増減額 (B-A)	△2,543	△900	△837	△893	△612.52
増減率 (%)	△18.4%	—	—	—	—

【差異の理由】

当社グループでは、前連結会計年度より住宅事業の基本方針を「総量」から「高付加価値」へ転換し、同事業における経営資源の配分を見直すとともに、資本効率及び収益性の向上を実現すべく事業構造の改革を進めてまいりました。具体的には供給エリア及び立地を厳選するとともに、商品性の見直しや建物原価の低減を実施しました。この取り組みは確実に成果が出始めておりますが、予想を上回る市況の厳しさ等による販売戸数の減少（前年同期比 43.5%減）と長期化した在庫の入替えに伴うコストを補うには至っておりません。また、本事業と密接な関係にある建材販売におきましては、工場稼働率は回復傾向にあるものの、住宅業界の市況低迷の影響により、収益改善が遅れております。

上記の理由から、売上高、営業利益、経常利益及び親会社に帰属する中間純利益はそれぞれ計画未達となりました。

2. 2025年5月期通期連結業績予想の修正（2024年6月1日～2025年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	30,244	440	233	28	19.20
今回予想 (B)	24,660	△915	△1,025	△1,130	△774.99
増減額 (B-A)	△5,584	△1,355	△1,258	△1,158	△794.19
増減率 (%)	△18.5%	—	—	—	—

【修正の理由】

今後、愛知県の戸建住宅市況においては更に競争が激化し、予断を許さない状況が想定されます。また、住宅事業と密接な関係にある建材販売においても、このような状況から収益改善には時間を要します。

当社グループの主たる事業である住宅事業においては、「1. 2025年5月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異」に記載のとおり、事業構造の改革を進めてきております。本改革における取組みの効果が現れ、収益性向上の兆しが見え始めましたが、本格的な回復は第3四半期連結会計期間以降を見込んでおります。

なお、2024年11月より操業を開始した製材工場については、原木調達及び工場稼働率の向上に努めてまいります。減価償却費等の費用負担が先行する見込です。

2025年5月期通期の連結業績予想につきましては、上記の理由及び経営環境等を総合的に勘案した結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が損失となる見込みであることから、2024年7月11日に公表しました前回予想を修正します。

以 上